

令和4年度学校評価について

令和4年度の児童アンケート、保護者アンケート及び教職員アンケートを実施しました。その結果を以下の通り分析し、次年度への課題としました。

【保護者アンケート 達成率が高かった項目（85%以上）】

達成率 (昨年度)	No.	項目
87% (77%)	5	学校は、わかりやすい授業を行っていると思いますか。
85% (85%)	8	学校は、子どもの健康、安全に配慮していると思いますか。
88% (91%)	12	お子さんは、楽しく学校に行っていますか。
96% (93%)	17	お子さんは、友達を大切にしていますか。
86% (65%)	18	お子さんは、自分のものや他者のもの、公共のものを大切にしていますか。
90% (87%)	23	お子さんは、健康や安全に気をつけていますか。

【保護者アンケート 達成率が低かった項目（60%未満）】

達成率 (昨年度)	No.	項目
52% (52%)	15	お子さんは、読書をごんばっていますか。
55% (47%)	24	他の保護者とコミュニケーションがとれていますか。

【児童アンケート 達成率が高かった項目（95%以上）】

達成率 (昨年度)	No.	項目
99% (96%)	5	授業中、先生や友達の話をしっかり聞いていますか。
95% (96%)	10	まわりの人にやさしくしていますか
98% (98%)	11	学校などで、みんなで使うものを大切にしていますか。

95% (96%)	12	学校や住んでいる地域のきまりを守っていますか。
96% (96%)	16	健康や安全に気をつけて生活していますか。
96% (97%)	17	先生方は、わかりやすく勉強を教えてくださいませんか。
96% (95%)	18	先生方は困ったときに助けてくれたり相談にのってくれたりしますか。
95% (91%)	19	先生方は自分たちががんばったことを認めたり、ほめたりしてくれますか。
95% (96%)	20	朝ごはんを食べてから学校に来ていますか

【児童アンケート 達成率が低かった項目 (85%未満)】

達成率 (昨年度)	No.	項目
83% (83%)	8	本を読むのが好きですか。

【保護者・児童アンケート分析】

児童は全体的に学校生活を肯定する回答が多いようです。18の質問全てで肯定的な回答が80%を越え、15問が90%を越えていました。

これは本校職員が児童の行いの称賛を心がけてきたこと（「19 先生方は自分たちががんばったことを認めたり、ほめたりしてくれますか」・・・肯定回答 95%）の成果でもありますが、何よりも身のまわりの環境を否定的に捉えないように導いてくださっているご家庭の教育の賜物であると感じています。

授業について、学校はわかりやすい授業を行っていると感じてくださっているようです（肯定的な回答 児童 96% 保護者 87%）。11月に全学年が行った柏市学力・学習状況調査の結果はまだ返却されてきていませんが、6年生の全国学力・学習状況調査の結果では、国語と算数の平均正答率が全国平均を5%以上上回っていました。多くの児童が授業の中で実りある学習をしてきた成果の1つのように思われます。

児童と保護者の方の回答傾向に違いが見られたのが、「わからないことを自分で解決しようとしていますか」「お子さんは疑問やわからないことを解決しようとしていますか」で、児童の肯定的回答が92%だったのに対し、保護者の方は60%と、大きな開きがありました。他にも児童「宿題や家庭学習を進んでいますか・・・92%」保護者「お子さんは家庭学習をがんばっていますか・・・65%」、児童「本を読むのが好きですか・・・83%」保護者「お子さんは読書をはかっていますか・・・52%」等の質問で顕著な違いが見られました。学習や読書、自力解決というところで、児童は頑張っているつもりだけれど、保護者の方にはまだまだ物足りないと思われるようです。児童の前向きな気持ちを生かしつつ、家庭と学校で連携して足

りない部分を補えるようにしていきたいものです。大人が児童の生活の全てを見ているわけではないので、児童とこまめに会話するなど、児童がどれほど頑張っているのかを正しく把握する努力を、今まで以上にこまめに行う必要があると思われます。

保護者様の回答で「学校はいじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいると思いますか」と「他の保護者の方とのコミュニケーションがとれていますか」では肯定的な回答が昨年度より5%以上上昇していました。それ自体は喜ばしい傾向ではあるのですが、いじめや不登校については76%、保護者同士の交流については55%と、水準としてはまだまだ高いとは言えない状況です。いじめや不登校をゼロにするのは非常に困難な課題であることを理解しつつ、今後も真摯に取り組んでいかなければならないと改めて感じました。そして、できるだけ授業参観や懇談会を実施し、保護者ボランティアの募集なども積極的に行い、学校を保護者様同士が知り合える場になるよう、来年度の行事予定を組んでいきたいと思ひます。

【教職員自己評価 達成率が高かった項目 (90%以上)】

達成率 (昨年度)	No.	項目
95% (66%)	1	『自ら高め合う子』の実現を目指して自ら学ぶ子を育成したか
90% (81%)	5	『健康で頑張る子』の実現を目指して「健康な子」を育成したか
90% (78%)	6	『健康で頑張る子』の実現を目指して「活動を頑張る子」を育成したか
90% (71%)	9	『明るい挨拶が響く学校』を目指して学級や学年の活動を通して一人一人が活躍できるように努めたか。
90% (88%)	10	『安心して活動できる清潔で安全な学校』を目指して「自分の命は自分で守る」意識を持たせる安全教育を充実したか
91% (85%)	14	『安心して活動できる清潔で安全な学校』を目指して教室・廊下・校庭などの環境、掲示物の整備、充実に努めたか

【教職員自己評価 達成率が低かった項目 (70%未満)】

達成率 (昨年度)	No.	項目
60% (56%)	17	「地域とともにある学校」をめざして、学校・学年・学級の教育方針・内容や児童の様子を知らせる広報活動の充実に努めたか。
54% (77%)	21	『特別支援教育の充実について』なかよし・すこやか学級との交流活動等を通して児童の特別支援教育への理解の推進に努めたか。
63% (68%)	27	『家庭・保護者への要望について』家庭学習・読書活動について、家庭の理解を促し具体的に要望したか。
60% (61%)	29	『学習指導の充実について』少人数指導、習熟度別指導等、指導形態の多様化を図ったか

【職員自己評価 分析】

学校教育目標「自ら学び高め合う子」「思いやりがあり協力する子」「健康で活動を頑張る子」が達成できたかについて、職員からの回答は「十分できた」「おおむねできた」という肯定的な回答がおおむね85%以上でした。児童の育成に関することで、目標を達成できた手応えを感じている職員が多いようです。

ただし「あかるいあいさつが響く学校」の項目で「あかるいあいさつが響く規律ある学級づくりに努めたか」については、昨年度より肯定的な回答が10%上昇しているものの75%にとどまり、同じ項目の他の質問と比べて低い水準となっています。保護者の方も「お子さんは元気にあいさつや返事をしていますか」という質問に対し、肯定的な回答が72%にとどまっているので、児童の挨拶については家庭と学校職員が同じように感じていることがわかります。しかしながら、児童は「先生や友達、地域の人などに進んであいさつをしたり返事をしたりしていますか」の問いに対し92%が肯定的な回答をしているので、大人と子どもの意識には大きなズレがあるようです。あいさつについて、もっと君はできるよ、ということを家庭・学校の双方から児童へ伝えていく必要があると考えられます。

「特別支援教育の充実について」では、児童の特別支援教育への理解について、職員の肯定的な回答は78%でした。取り立てて低い水準ではありませんが、昨年度91%よりは大幅に下がっています。原因として考えられるのは普通学級に在籍している支援を必要とする児童への対応に悩む職員が多いことです。席に座ってられない子、すぐに手が出てしまう子、それらを注意されても止められない子など、支援を必要とする児童は普通学級でも少なからず見受けられます。個別支援の職員を増やしたり、保護者の方に支援が必要なことを理解してもらったりするなどの手立てを取りたいところですが、人手不足だったり理解を得られなかったりして、なかなか前に進みません。前に進まなくても諦めず、今後とも努力を続けたいところです。管理職からの声かけや職員同士の連携などを絶やさぬよう努めていきます。

【いただいた意見について】

記述形式で様々なご意見をいただきました。1つ1つを来年度の教育課程作成や指導の参考にさせていただきます。いただいた意見の中で複数あったものをいくつか取り上げさせていただきます。

○感染対策のこと

多くいただいたのが「コロナ禍でも学校行事や部活動などをやってほしい。保護者参観をさせてほしい」というご意見でした。今年度、運動会やミュージックフェスタ、授業参観・懇談会など、少しずつ行事を戻すようにしてきましたが、まだコロナ以前と同様となるまでには至っていません。未だ児童の体験の制限になっていることを大変申し訳なく思います。柏市は全市で行事の実施を統一せず学校ごとの対応となっていますので、他校と対応が違っていることを気にされている方もいるようです。

意見を集約する側としましては、新型コロナに対する考え方は人それぞれまちまちであり、市内の学校の対応もまちまちであり、正解のないところで実施することを決めていくのは非常に難しく感じました。

社会全体が徐々に新型コロナへの対応を緩和する動きとなっています。旭小も来年度は今年度以上に行事を再開したり制限を緩和したりできそうです。ただ、恐らく高齢者や基礎疾患

を持つ方がいらっしゃるご家庭は、未だ感染への不安を抱えているように思います。そういう方たちの「声なき声」も考慮しながら、来年度の教育課程を組んでいきたいと思っています。

○水泳指導・持久走のこと

今年度全校で水泳指導を中止し、「実施してほしかった」という意見をいくつかいただきました。今のところ来年度は実施する考えです。

他校でスポーツクラブやスイミングクラブと提携して水泳指導を実施した学校があり、「旭小ではできないのか」というご意見もありました。そのような提携活動は柏市教育委員会が少しずつ始めている事業であり、残念ながら旭小はまだその対象校となっておりません。プールの使用やインストラクターによる指導などの料金が発生するため、学校独自での実施は難しく、対象校となって柏市の予算が付かないことにはなかなか実施できることはありません。今のところ、来年度は自校のプールで指導を行うことになりそうです。

新型コロナで行事が中止されたことを契機に、これまで慣例的に行われてきた行事を削減していこうという考えもあります。持久走大会は、そのような意味で実施を再考したい行事の一つです。持久走大会は意欲的に取り組む児童も多く、練習を積んだことが結果につながることも多いので、多くの児童が達成感を得られる魅力的な行事ですが、いかにせん学習指導要領との関わりが薄く、時には生命の危険につながることもあります。実施については来年度も慎重に考えたいところです。

○未就学児の入場のこと

50周年記念のミュージックフェスタで入場できる保護者を1名に限り、未就学児の入場を遠慮していただいたことに関して、未就学児を預かってもらうことが難しかったなどのご意見をいただきました。小さい子を育てていらっしゃるご家庭への配慮が不足し申し訳ありませんでした。今後授業参観・懇談会等行うときは、できる限り人数制限をせず、未就学児の来校も可能にしていきたいと思っています。

ただ、未就学児が学習活動の妨げになったり、けがをしたりしないように、保護者の方には責任を持って見ていただかなくてはなりません。体育館に小さいお子様が入ると、広い場所に大喜びして走り回ってしまうことがよくあります。体育館での音楽発表等、静粛に聞かなければならないような行事のときに未就学児の入場をご遠慮いただくことは、コロナ以前でも、または他校でも実施されていることであり、今後もあるかもしれません。次年度も検討していきたいと思っています。

○部活動のこと

運動部の活動が少なかったことを残念に思う意見をいただきました。新型コロナの影響でしばらく停止していた部活動を、今年度少しずつ再開してきました。運動部・吹奏楽部ともに大会に参加することができましたが、過去の様子から比べると、練習期間や練習時間はずっと少ないものでした。物足りなく感じた方もいらっしゃるかと思います。

「地域子ども達は地域で育てていく」という国や県・市の方針のもと、部活動は徐々に地域に移行していきます。地域住民等の中から指導者を募り、児童生徒は放課後や土日にその方たちの指導する場へ行って活動にいそむよう変わっていきます。まず中学校の部活動

が地域に移行していき、それから小学校が移行していく流れですが、小学校で部活動をやっている県は全国的にも稀なため、他県に合わせてなくなっていく可能性も高いです。市内の学校が集まって行われる大会は再来年度を目処になくなっていきます。

そのような流れの中ですので、来年度の校内での部活動練習期間や時間が増えることはなく、今年度と同程度になる予定です。ご理解いただくと同時に、地域で子ども達を育てる活動へのご協力をお願いしたいと思います。

○手紙配付のこと、連絡帳のこと

配付する手紙を電子化できないかというご意見をいただきましたので、来年度は「スクリレ」という家庭連絡システムを導入しようと考えています。現在の「すくすくメール」に似たシステムですが、メールだけでなく PDF など電子化した手紙を配付することができます。紙の節約や児童の持ち帰り忘れの防止等につながる効果が見込まれます。

2 月中に保護者様に案内を配付し、3 月から使用を開始します。3 月・4 月はお試し期間のため無償で使用できます。その間保護者様の反応や職員の使い勝手などをうかがいながら、5 月から本格導入していく考えです。お試し期間終了後は有償です。家庭数によりませんが 1 家庭年間で 100～150 円程度教材費として集めさせていただくこととなります。

児童が端末を持ち帰るようになり、本校ではほとんどの学級が Google の Classroom で連絡を伝えています。そのため、「紙の連絡帳がなくなって家庭の意見が学校に発信しづらい」という意見もいただきました。何かお伝えしたいことがありましたら連絡帳ではなくメモ書き等でも構いませんので伝えていただいても構わないのですが、今後「スクリレ」は「すくすくメール」と違い、ご家庭からの返信が限定的にですが可能となります。新たな連絡手段として活用していただければと思います。

他にもたくさんのご意見をいただきました。一つ一つを今後の指導の参考にしていきます。特に「誤解を招かないような情報発信をしていくべき」等のご意見には、今後も誠心誠意応えていかなければならないと思っています。微力のため、早急な改善向上ができないところもあるかもしれませんが、今後も学校活動へのご協力の程、よろしくおねがいいたします。

柏市立旭小学校

令和4年度 学校評価について

- ・ 児童アンケートの結果**
- ・ 保護者アンケートの結果**
- ・ 職員アンケートの結果**
- ・ まとめ**

